

# ●1分で見える世界景気／2018年4月末から見た2018年5月動向

※世界同時好況と複合リスク(米国利上げ、地政学、貿易関税)が同居する世界経済の中、日本はリーダーシップを取れるか？

欧  
州

## 英国/EU離脱、残り約1年

EUが移行期間20年末までを承認  
4月にEUと英の自由貿易協定の協議開始  
・17年GDP+1.9%→+1.8%

2018年政治リスク・中東欧、スペイン  
・イタリア/連立交渉難航・欧州制度改革

## 政治、地政学、貿易関税リスク

ドイツ・メルケル政権4期目へ

・EU  
2月消費者物価指数+1.4%(前年同月比)  
1月失業率8.5(低下)  
2018年経済見通し 上方修正+2.0%

欧州中銀 経済見通し改善  
金融緩和縮小決定  
・月額600億ユーロ買入れ→300億ユーロ  
・期間を17年12月末→18年9月末まで延長  
・6月理事会に注目集まる

## 中国

### 地政学&貿易関税リスク

18年経済成長率目標 6.5%前後  
※17年GDP+6.9%(昨年6.7%)

18年1-3月期 ※( )は前期比  
・建設、不動産低迷  
GDP+6.8%(+6.8)  
輸出+14.1%(+7.9%)  
固定資産投資+7.5%(+7.2%)  
工業生産+6.8%(+6.6%)  
実質個人消費+5.4%(+5.4%)  
不動産販売+3.6%(+7.7%)

世界同時好況と複合リスク(米国利上げ、地政学、貿易関税)が同居する中、ポスト適温経済のリーダーはどの国か？

## トランプ政権

米国

雇用増、設備投資増

### 地政学&貿易関税リスク

景気好調 ※2018年予想+3.0%(昨年+2.3%)

3月雇用+10.3万人、失業率4.1%  
2018年1-3月の主要500社の利益は2割増  
(前年同期比)へ

長期金利3%台へ

3月新車販売+6.3%(前年同月比)、生産台数増加  
・新築戸建販売件数3月+11.75%(前年同月比)

日本

## 地政学&貿易関税×国会リスク

経済堅調、雇用改善  
・2月失業率2.5%、訪日客1-3月+17%(前年同期比)  
消費1兆1343億円

3月日銀短観/景況感8期ぶりに悪化  
→原材料上昇、人手不足、円高、貿易摩擦を懸念

●日銀 黒田総裁再任スタート 緩和維持  
(物価2%達成まで)

金融緩和が量から金利へ  
①短期金利(-0.1%) ②長期金利を0%へ誘導決定

## 新興国 回復の傾向鮮明に●ブラジル/2017年度

- GDP+1.0%(前年比) 景気下落底打ちか
- インド/2017年10-12月期GDP+7.2%(前期比)
- オーストラリア/2月雇用+17,500人 17ヶ月連続増加
- アフリカ全体/18年から19年+4.1%まで上昇と予想(アフリカ開発銀行)
- トルコ/2017年GDP+7.4%(過熱感)
- イラン/17年GDP+3.5%(昨年+12.5%)で急減、地政学リスクが影響か？

緩和マネー